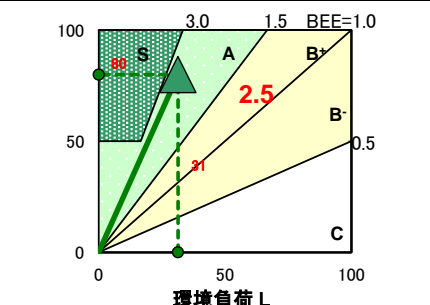
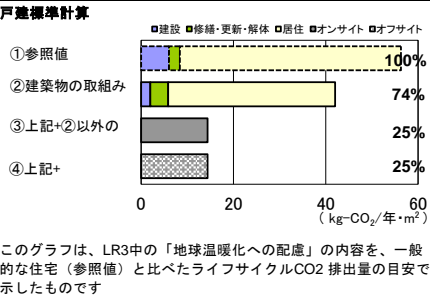
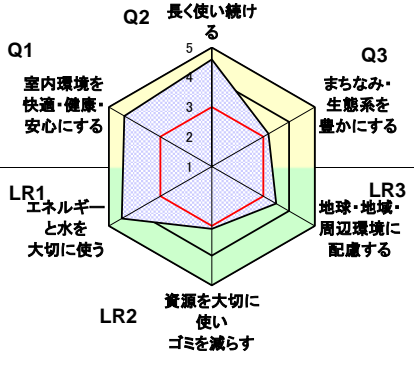
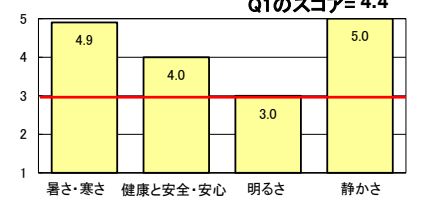
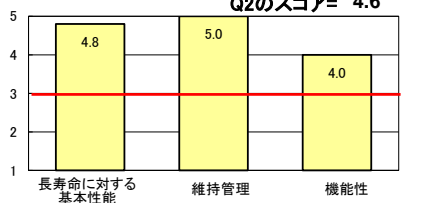
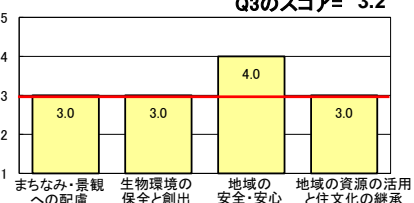
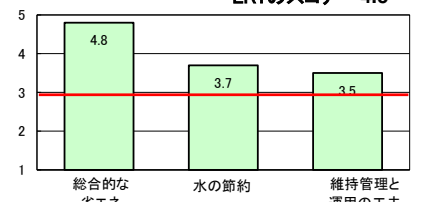
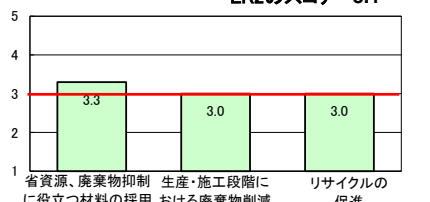
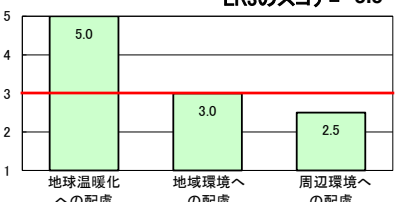




1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	個人住宅		仕様等の確定状況	建物の仕様	一部確定
竣工年月	2021年2月	竣工		持ち込み家電等	仮
建設地	横浜市旭区川島町			外構の仕様	仮
用途地域	第2種住居地域	確定			
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	木造・在来工法	確定	評価の実施日	2020年9月6日	
敷地面積	180 m <sup>2</sup>	確定	作成者	岡部 知花	
建築面積	61 m <sup>2</sup>	確定	確認日		
延床面積	112 m <sup>2</sup>	確定	確認者		
世帯人数	3	確定			

2-1 戸建の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p><b>BEE ≧2.5</b> ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>  <p>環境負荷 L</p>	<p>☆☆☆☆☆ ~0% ☆☆☆☆☆ ~50% ☆☆☆☆☆ ~75% ☆☆☆☆☆ ~100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>戸建標準計算</p>  <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅 (参照値) と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub> 排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>Q2 長く使い続ける</p> <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> 

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b></p> <p>Qのスコア = 4.1</p>		
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>Q1のスコア = 4.4</p> 	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>Q2のスコア = 4.6</p> 	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>Q3のスコア = 3.2</p> 
<p><b>LR 環境負荷低減性</b></p> <p>LRのスコア = 3.7</p>		
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>LR1のスコア = 4.5</p> 	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>LR2のスコア = 3.1</p> 	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>LR3のスコア = 3.5</p> 

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>●ZEH基準達成レベルの建物を建築予定</p>		<p><b>その他</b></p> <p>●ZEH普及促進補助制度</p>
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>●省エネ基準を満たす断熱材の使用 ●断熱サッシの使用による冷暖房費の軽減</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>●地盤調査に基づく改良、基礎方式の検討 ●床下換気、外壁通気工法、防湿シート仕様による高耐久化 ●構造部材を70%以上国産材使用による高耐久化</p>	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>●構造部材を70%以上国産材を使用</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>●電球の取り換えがほぼいらぬLED照明を使用</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>●</p>	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>●構造部材を使用時に伐採した分新たな樹木を植えるシステムを採用 (タマストラクチャー)</p>



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

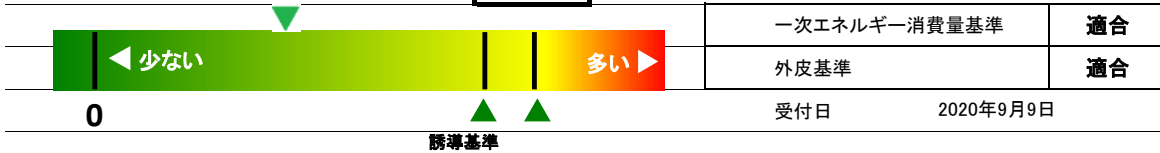
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **個人住宅**

**建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving**      重点項目への取組(5点満点)      **【省エネルギー性能】**      **5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **57** %削減



■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

熱交換型24時間換気を採用している

給水ヘッダー方式、さや管スリーブの採用により維持管理をし易い建物を建てている

**健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community**      重点項目への取組(5点満点)      **【健康・安心】**      **5**

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4を超える (相当)

断熱材にグラスウール、サッシは樹脂サッシを使用する事によって外皮平均熱貫流率0.48W/m<sup>2</sup>kの達成

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

高断熱サッシ、高断熱材を使用する事による1次エネルギーの消費量を少しでも削減する事に努めている

建材にF☆☆☆☆以上の物を採用する事で健康的な居住環境を目指した。

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無      あり

全ての居室において2方向に窓、もしくは開口部を設けることにより適切な通風が取れるように配慮した。

**防災への配慮 (R) Resilience**      重点項目への取組(5点満点)      **【防 災】**      **5**

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

躯体の74%に国産材を使用することにより構造材の長寿命化を目指している

災害に備え、屋根材は防災対策の取れた瓦を採用している

370L入のエコキュートを設置する事により災害時も一時生活水が使えるようになっている。

**地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape**      重点項目への取組(5点満点)      **【地域・まちづくり】**      **3**

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

HEMS

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

蓄熱設備

# CASBEE 横浜 [戸建] | 評価結果 | 2-077



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)  
個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.4

スコアシート				
配慮項目	重点項目	評価点	重み係数	全体
<b>QH</b> すまいの環境品質		-	-	<b>4.1</b>
<b>QH1</b> 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	<b>4.4</b>
<b>1 暑さ・寒さ</b>		<b>4.9</b>	0.50	<b>4.9</b>
1.1 基本性能		<b>4.8</b>	0.50	-
1 断熱等性能の確保	健康・安心 ④暑さ・寒さ	5.0	0.80	-
2 日射の調整機能	健康・安心 ④暑さ・寒さ	4.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		<b>5.0</b>	0.25	-
1 風を取り込み、熱気を逃がす		5.0	0.50	-
2 適切な冷房計画		5.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		<b>5.0</b>	0.25	-
1 適切な暖房計画		5.0	1.00	-
<b>2 健康と安全・安心</b>		<b>4.0</b>	0.30	<b>4.0</b>
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心 ⑤健康と安全・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心 ⑤健康と安全・安心	3.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心 ⑤健康と安全・安心	3.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防災 ⑦災害に備える	5.0	0.25	-
<b>3 明るさ</b>		<b>3.0</b>	0.10	<b>3.0</b>
3.1 屋光の利用		3.0	1.00	-
<b>4 静かさ</b>		<b>5.0</b>	0.10	<b>5.0</b>
<b>QH2</b> 長く使い続ける		-	0.30	<b>4.6</b>
<b>1 長寿命に対する基本性能</b>		<b>4.8</b>	0.50	<b>4.8</b>
1.1 躯体	防災 ⑧長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.2 外壁材		5.0	0.10	-
1.3 屋根材・陸屋根		5.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防災 ⑧長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える		<b>4.0</b>	0.20	-
1 火災に耐える構造		4.0	0.65	-
2 火災の早期感知		4.0	0.35	-
<b>2 維持管理</b>		<b>5.0</b>	0.25	<b>5.0</b>
2.1 維持管理のしやすさ		5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
<b>3 機能性</b>		<b>4.0</b>	0.25	<b>4.0</b>
3.1 広さと間取り		5.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		3.0	0.50	-
<b>QH3</b> まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	<b>3.2</b>
<b>1 まちなみ・景観への配慮</b>	地域・まちづくり ⑩まちなみ・景観への配慮	3.0	0.30	<b>3.0</b>
<b>2 生物環境の創出</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり ⑪生物環境の創出	3.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり ⑪生物環境の創出	3.0	0.35	-
<b>3 地域の安全・安心</b>	防災 ⑨地域の安全・安心	4.0	0.20	<b>4.0</b>
<b>4 地域の資源の活用と住文化の継承</b>		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>
<b>LRH</b> すまいの環境負荷低減性		-	-	<b>3.7</b>
<b>LRH1</b> エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	<b>4.5</b>
<b>1 総合的な省エネ</b>		<b>4.8</b>	0.75	<b>4.8</b>
1.1 躯体と設備による省エネ	省エネルギー性能 ①建物の工夫	5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能 ②設備の性能	3.0	0.10	-
<b>2 水の節約</b>		<b>3.7</b>	0.15	<b>3.7</b>
2.1 節水型設備		4.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
<b>3 維持管理と運用の工夫</b>		<b>3.5</b>	0.10	<b>3.5</b>
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能 ③維持管理と運用	3.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能 ③維持管理と運用	4.0	0.50	-
<b>LRH2</b> 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	<b>3.1</b>
<b>1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用</b>		<b>3.3</b>	0.60	<b>3.3</b>
1.1 構造躯体		<b>4.0</b>	0.30	-
1 木質系住宅		4.0	1.00	-
2 鉄骨系住宅		3.0	-	-
3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		3.0	0.20	-
1.4 内装材		3.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
<b>2 生産・施工段階における廃棄物削減</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		3.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		3.0	0.33	-
2.3 施工段階		3.0	0.33	-
<b>3 リサイクルの促進</b>		<b>3.0</b>	0.10	<b>3.0</b>
3.1 使用材料の情報提供		3.0	1.00	-
<b>LRH3</b> 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	<b>3.5</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		<b>5.0</b>	0.33	<b>5.0</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>		<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>
2.1 地域インフラの負荷抑制		3.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		3.0	0.50	-
<b>3 周辺環境への配慮</b>		<b>2.5</b>	0.33	<b>2.5</b>
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		1.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		4.0	0.50	-